

# 小学生熱射病死亡事故

# エアコン設置早く！ 市教委に党市議団が要請

# 豊田民報

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一・六・六  
Tel: 三四・四七七一  
毎週一回発行



日本共産党豊田市議団は20日、市内の梅坪小学校の校外活動に参加した1年生が熱射病で死亡した事故を受け、市教育委員会に野外活動の運営マニュアルの設定や教室へのエアコン設置の前倒しなどを申し入れました。  
大村よしのり市議、根本みはる市議、本多のぶひろ市議予定候補が要請書を手渡ししました。※下記要請書

対応した澤平学校教育部長は、「よくわかりました」と要請書を受け取りました。澤平部長は、全小中学校で2021年度までに完備予定のエアコン設置の前倒し、再発防止にむけた検証やマニュアルの設定など、検討をすすめ最大限と取り組みたいと応じました。  
大村議員らは、「二度とあってはならない事故。子どもたちが安心して通える教育環境へ緊急の手立てをとってほしい」と重ねて要望しました。



豊田市教育委員会 山本浩司教育長 様  
学校教育部 澤平昭治部長 様

2018年7月20日

日本共産党豊田市議団  
大村よしのり  
根本みはる

梅坪小学校児童死亡事故に関し、野外活動の運営マニュアル、教室のエアコン設置等についての申し入れ書

7月17日、野外活動中に起こった児童の熱射病死亡事故は、関係者を始め、保護者、教育現場、地域に大きな衝撃を与えています。2度とあってはならない重大な事故であるとの認識の上で、市内の小中学校が子どもたちが安心して通える教育環境となることを切に願い、以下の点を要望いたします。

- 1、児童からの体調不良の訴えがあったにも関わらず、死亡事故に至った経緯から、専門家などによる第三者機関を設置し、その意見を反映させて、事故の検証を行ってください。
- 2、野外活動の実施・中止の判断の在り方、ボランティアなどが引率に加えられず、担任教諭のみで引率した体制にも、事故を引き起こす問題があったと考えます。この点を重視し、野外活動の運営マニュアルを設定・充実してください。
- 3、普通教室のエアコン設置の計画を明らかにしつつ、学校現場の意見を反映させて、設置を前倒しですすめてください。
- 4、児童への心の相談を十分に行ってください。

以上

文科省担当者は、今年度の補助金配分は終わり、すべての自治体要望に答えられないと説明。「来年度予算の確保に努めたい」と答えました。

## 新婦人・豊田の代表 文科省に要請

新日本婦人の会は19日、気温40度を超えるなど記録的な酷暑から子どもへの命と健康を守るため、文科科学省に対して、学校施設へ冷房の空調設備を設置するために補助金増額を求める要請を参院議員会館で行いました。



要請を手渡ししている人の右から2番目が、新婦人・豊田の代表の肌附さん

新日本婦人の会豊田支部の肌附千春さんは「小中学校にエアコンがついていない。国が後押ししてほしい」と強調。「登下校で子どもが水を飲まないルールもある。水分補給するよう徹底してほしい」と訴えました。



# 中核製材工場が御船に完成 期待される林業へ。党市議団が現地を視察

7月13日、豊田市が中核製材工場として市有地に誘致した西垣林業(株)の工場が市内御船町に完成して市議会への説明・内覧会が開催されました。日本共産党の大村よしのり市議、根本みはる市議も参加しました。

新設された同工場の生産規模は原木取扱量で平成34年には4万5千m<sup>3</sup>をめざすとしており(今年度は2万5千m<sup>3</sup>)、これは県内の取扱量の三分の一にあたると言います。

市町村合併した豊田市の面積は名古屋市の2.8倍に相当する918km<sup>2</sup>。その内6

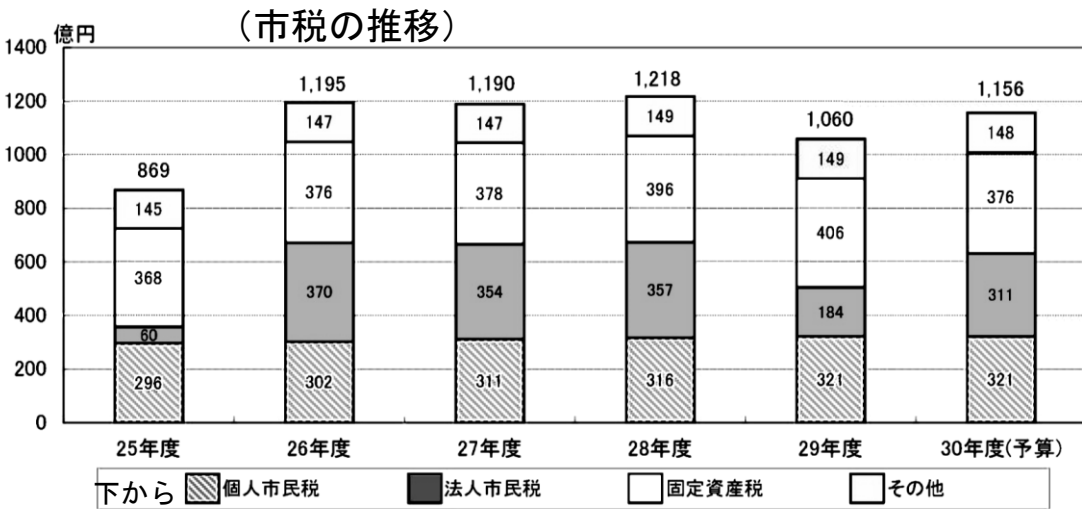


8%は森林であり、その森林面積の内57%は人口林です。その活用がなかなか進みませんでした。中核製材工場が市内に新設されて、今後、地元材の活用が期待されます。製材工場では、端材や木くず、樹皮などが大量に出ますが、ほとんどが木くず焚きボイラーに使用されて材木の乾燥に使われているとの事。地元の猿投農林高校の卒業生の新規雇用も拡大しました。正式には、8月2日にオープン、本稼働になります。今後の林業の発展が期待されます。

# 九月議会で徹底審議 豊田市の財政決算

平成29年度の豊田市財政の決算報告の概要が市議会に示されました。正式な決算書は9月市議会に上程されて審議されます。

市税収入は、前年の平成28年度の1218億円に対して平成29年度は1060億円、158億円減となった



**市政報告会のご案内**  
**8月5日(日) 15時~17時**  
 上郷コミュニティセンターにて  
 (三河上郷駅から徒歩5分)  
 お話：根本みはる市会議員から6月市議会や南部地域の医療体制について  
 主催：日本共産党上郷後援会

います。その最大の要因が法人市民税の前年度比173億円減です。 ※左上のグラフ参照  
 平成29年度に市税収入が少なかった対応として、「財政調整基金」や「保険医療福祉基金」等から108億円余が繰り入れされました。適切な財政運営が行われたのか、日本共産党市議団は、9月議会ですっきり審査を行っていきます。

**「花火を見る会」にお越しく下さい**  
 日本共産党の豊田市後援会が、おいでんまつり「花火を見る会」を開催します。ご家族連れで気軽に参加してください。(当日は駐車場がありません。名鉄豊田市駅か梅坪駅から徒歩15分)  
 日時：7月29日(日) 午後6時30分から  
 場所：日本共産党豊田市委員会の事務所駐車場(豊田市日之出町1-6-6)  
 会費：600円(弁当、おにぎり、焼きそば、スイカ等。アルコール代は実費)  
 申込：電話34-4772にご一報ください。

**西日本豪雨災害への募金開始**  
 日本共産党として豪雨災害被災地への募金活動に取り組んでいます。  
 共産党豊田市議団の駅頭宣伝でも募金へのご協力を呼びかけ、梅坪駅や豊田市駅、三河八橋駅でご協力いただきました。お預かりした募金は、日本共産党の政治活動のための資金とは区別して、その全額を被災者の救援に充てます。  
 募金活動の詳細やボランティア活動については党HPをご覧ください。